

緩和ケア通信 令和2年第1号

令和2年5月8日

津島市民病院緩和ケア病棟理念

つね(常)に寄り添い

しんし(真摯)な心で

まごころ(真心)こめて

その人の持つ生きる力を支援いたします

もっと知って！緩和ケアQ&A

Q. 緩和ケア病棟はどのような状態になった時に利用できるのでしょうか？

A. 緩和ケアは、がんの進行した患者さんに対して行われるケアと思い込んでいる患者さんご家族は少なくありません。

緩和ケアはがんが進行してからではなくがんを診断された時から、

必要に応じて行われるものです。※図参照

当院の緩和ケア病棟の入院体制には4つの

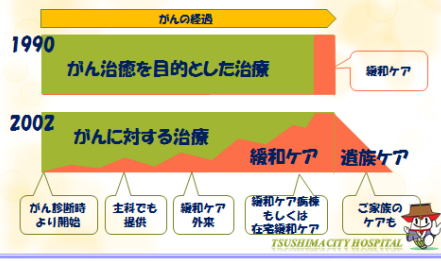
体制があります。

1. 体験入院：1日～2日の入院で緩和ケア病棟を知っていただく入院です。
2. レスパイト入院：介護している家族の休息のための入院で1週間以内の入院です。
3. 症状緩和のための短期入院：疼痛や吐き気、食欲不振、気分の落ち込みなど様々な苦痛症状を緩和するための入院で2～3週間の予定入院です。
4. 通常入院：看取りを含む症状緩和目的の入院です。

緩和ケア病棟ではがんの積極的治療は行いませんが、化学療法期間中などの患者さんも受け入れます。治療中でも主治医の先生に相談してください。

2～4において症状緩和ができれば、在宅や施設への退院支援もいたします。

昔と今の緩和ケア



緩和ケア病棟では患者さんとご家族と共に天王川公園の藤の花を見に出かけます。

しかし、今年はコロナウイルスの渦中にあつたので、計画を断念し、ちよちよに扮した先生と藤の花を持って各お部屋に伺い、煎れたての珈琲やお抹茶を楽しんでいただきました。



緩和ケア病棟の庭園



コロナウイルスによる緊急事態宣言を受けて緩和ケア病棟でも面会が制限されております。患者様・ご家族の皆様ご理解・ご協力ありがとうございます。

頑張ろう日本！ステイホームでこの苦境を乗り越えましょう。